

山口県ケアマネジメント研究大会 倫理審査規程

令和元年7月
(令和7年4月改定)

(一社) 山口県介護支援専門員協会

1 倫理審査規程の設置の趣旨

介護支援専門員の質の向上が問われている昨今、現場の実践の中から新たな知見を研究としてまとめ、社会に発信することは、介護支援専門員の地位向上のため必要不可欠なことです。県協会では、これまで山口県ケアマネジメント研究大会を通して、会員の研究機会の確保に取り組んでいます。これまでのところ、会員の研究への取組みを支援するため、「研究のための研修企画」及び「研究指導者制度」を構築してきました。「研究指導者制度」とは、県協会に登録のある研究指導者が、研究者に対し、①研究計画書の作成、②研究の方法や分析の仕方、③抄録の書き方、④発表スライドの作成等指導を行うものです。

また、介護支援専門員が所属する事業所において、倫理審査委員会が設置されているところが少ない状況から、県協会として「人を対象とした研究」の倫理を踏まえた研究の取組みとなるよう「山口県ケアマネジメント研究大会倫理審査規程」を設けるものです。

2 倫理審査規程

この規程は、会員による「人を対象とした研究」が、研究倫理のもとに新たな知の創造をすることで社会への貢献に寄与できるように、誠実で責任ある研究活動を支援する事項について定めたものです。

1) 指導申込書の提出

研究に取り組もうとする会員は、「指導申込書（別紙様式 1）」を、県協会事務局に提出します。

2) 研究指導者とのマッチング

県協会は、提出された「指導申込書」を受理し、会員と研究指導者のマッチングを行います。研究指導者の選定には「研究指導者（別表1）」を参照ください。

3) 研究指導者による指導

「研究計画書（別紙様式 2）」を研究指導者の指導のもと作成します。作成の際には、必ず次の文献を熟読され、取り組んでください。

①研究者のみなさまへ ～責任ある研究活動を目指して～

国立研究開発法人 科学技術振興機構 平成 29 年 10 月発行

URL：https://www.jst.go.jp/kousei_p

②科学の健全な発展のために - 誠実な科学者の心得 -

日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会

URL：<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html>

4) 研究計画書の提出

「研究計画書」は、県協会が定める期日までに県協会事務局に提出します。提出にあたっては、必ず事前に研究指導者の確認を取ってから提出ください。提出された研究計画書は、県協会調査研究部において、「研究計画審査用研究倫理チェックリスト（別表2）」により審査を行います。審査で承認された場合は、「研究倫理審査承認証明書（別紙様式3）」にて通知します。承認されなかった場合は、修正と再提出することになります。

5) 抄録・パワーポイントの提出

協会が定める日までに、抄録・パワーポイント資料の提出をします。なお、抄録には必ず倫理的配慮や倫理審査の承認を受けたことを明記してください。

6) 研究指導者からの意見聴取

県協会は研究指導終了後、研究指導者および研究発表者より意見を徴し、今後協会として会員に対する研究支援の在り方について協議を行っていくこととします。

3 スケジュール

時期	内容
随時～開催前年の9月末	指導申込書の提出、研究指導者とのマッチング（厳守）
開催前年の12月末まで	研究計画書及び同意書、調査票の提出（厳守）
開催年の1月	結果通知・研究開始
開催年の9月	抄録提出
開催年の10月	大会当日（未定）

（別表1）

番号	氏名	所属	役職
1	横山正博	公立大学法人 山口県立大学	教授
2	梅木幹司	至誠館大学 現代社会学部現代社会学科	副学長兼学部長 教授

(別表2)

研究計画審査用研究倫理チェックリスト

倫理審査委員会を持たない機関に所属する会員が、研究発表を実施する「研究計画」に関する審査として、下記の項目について倫理的配慮が十分になされていることを確認しました。

- ☐ 研究目的・計画・方法が妥当である
- ☐ 研究の対象者の人権が擁護されている
- ☐ 対象者を確保する方法が適切である
- ☐ 対象者の人権を脅かす様々な可能性が明記されている
- ☐ 対象者への身体的、心理的なリスクが明記されている
- ☐ 対象者へのリスクを最小限にとどめる具体的な方法が明記されている
- ☐ 対象者へのインフォームドコンセント（IC）の方法が適切である
- ☐ ICをいつ、だれが、どのように行うのかが明記されている
- ☐ 研究の説明内容が適切である
- ☐ 承諾/同意文書の内容が適切である
- ☐ 承諾/同意を取る方法が適切である
- ☐ 個人情報保護する体制が整えられている
- ☐ 匿名性が確保されている
- ☐ 情報の漏えい防止策がとられている
- ☐ 研究の透明性が確保されている
- ☐ 研究方法が具体的に明記されている
- ☐ 研究結果の公表について明記されている
- ☐ 研究資金を受けている組織と研究者との関係が明記されている
- ☐ 研究組織が明記されている
- ☐ 研究フィールドが明記されている
- ☐ 対象者への謝礼の有無と内容について明記されている。

参考・引用文献：（一社）日本公衆衛生看護学会研究倫理審査申請

4 様式

(様式1)

山口県ケアマネジメント研究大会 指導申込書

(提出締切 開催前年の9月末日)

研究代表者	
共同研究者	
研究の概要	目的や方法、スケジュールなどを記載ください。
研究指導者の希望	
研究成果物の利用申請	※希望の範囲に○をつけてください。 提供を希望 する ・ しない 公表の範囲は以下のとおりとなります。 ① 研究計画書 ②調査依頼書 ③調査同意書 ④調査票 ⑤抄録

(様式2)

研究計画書（人を対象とする研究）

一般社団法人

山口県介護支援専門員協会 会長殿

申請者（研究責任者）

所属：

氏名: _____

電話：

E-mail :

事前確認者（研究指導者）：

氏名：

山口県ケアマネジメント研究大会における研究発表について、下記の研究計画を申請します。

記

研究課題名			
研究期間	協会承認後 ～ 年 月 日		
研究組織	氏名	所属	電話
研究責任者			
共同研究者等			
添付書類	☐ 同意説明文書 ☐ 研究参加同意書 ☐ 資料① ☐ 資料② ☐ 資料③		
研究の態様	介入の有無 ☐ 介入あり ☐ 介入なし ※介入とは、研究目的で人の健康に関する様々な事象に影響を与える要因の有無又は程度を制御する行為を意味します。		

研究背景 (簡潔に記載ください)	
研究目的 (簡潔に記載ください)	
研究の意義 (簡潔に記載ください)	
研究方法 (具体的に記載下さい)	
研究実施場所	
研究対象者 (具体的に記載下さい)	
対象者に対する 倫理的配慮	(利害とそれに対する配慮) 以下の文献について内容を理解しました (いずれかにチェック) ☐ 研究者のみなさまへ～責任ある研究活動を目指して～ 国立研究開発法人科学技術振興機構 平成 29 年 10 月発行 ☐ 科学の健全な発展のために - 誠実な科学者の心得 - 日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会
対象者に対する 秘密保持	(個人情報の取扱い)
研究の科学性・ 客観性	☐ データの収集並びにその解析にあたっては、データの捏造・改竄や虚偽の表示等を行うことなく、科学的に妥当な手法を用いて公正かつ適正に実施します ☐ その他 ()
研究結果の公表に おける配慮	☐ 研究結果を公開する際に、対象者を特定できる個人情報等は開示しません

(様式3)

研究倫理審査承認証明書

下記の研究は、一般社団法人山口県介護支援専門員協会の倫理審査規程による審査の結果、承認されたものであることを証明します。

承認番号	—
研究責任者	
研究指導者	
研究課題	
承認された期間	年 月 日 ～ 年 月 日

令和 年 月 日

一般社団法人山口県介護支援専門員協会
会 長 佐々木 啓太